

## 平成 26 年度一般社団法人日本家政学会中部支部第 1 回役員会議事録

日 時：平成 26 年 7 月 27 日(日) 13:00～17:00

場 所：東海学園大学 名古屋キャンパス 4 号館 425 教室

出 席：東珠実、和泉秀彦、岸本満、長島万弓、長野宏子、西田淑男、乗本秀樹、原田妙子、平林由果、  
福岡恩、夫馬佳代子、丸山智美

欠 席：石原健吾、金田桜子、可部野和子、木澤光子、阪中専二、佐藤真美、中澤弥子

記 録：長島万弓

(敬称略 五十音順)

議事次第：

### I. 報告事項

#### 1. 理事会報告 (資料 1)

東支部長より理事会報告の中から、①中部支部会員数に関する件、②平成 28 年度の全国大会が中部開催となり、日程と会場校を秋までに決める必要があること等が報告された。②は本役員会の協議事項として検討する。

#### 2. 第 1 回役員連絡会報告 (資料 2)

長島庶務幹事より、6 月 13 日開催の役員連絡会議事録に基づき、以下の内容が確認された。

<報告事項について>

- ・本役員会の報告事項として取り上げる。

<協議事項について>

- ・第 59 回大会について検討された。本役員会の協議事項として取り上げる。
- ・平成 26 年度第 2 期活動助成金の申請目的が承認され、本役員会で詳細を検討する。

#### 3. 中部支部賞について (資料 3-1、3-2)

平林先生より、内規 (資料 3-1) に基づき、資料 3-2 の通り受賞者が選考されたことが報告された。選考にあたって、選考委員に専門分野の偏りがあったことが問題点として挙げられた。今年度の選考委員はすでに支部長、副支部長により選出済みである(公表はしない)。

#### 4. 平成 26 年度第 1 期活動助成金について (資料 4)

東支部長より、日本家政学会第 1 期活動助成金については石原前支部長が支部大会の一般公開講演会に関して申請したが、支部大会終了後、報告書の提出が必要であることが確認された(参加者数を会員、非会員別に把握しておく必要がある)。

#### 5. 若手の会より (資料 5 および 資料 10)

福岡若手の会代表より、今年度から代表に着任したが、私事により年度後半は代表を日比野先生(現副代表)に引き継ぐことが報告された。また、「若手の会へのお誘い」(資料 5)ならびに平成 26 年度の活動計画の概要が説明された(資料 10)。なお、メーリングリストに不具合があるとの報告があった(要確認・修正)。

#### 6. その他

西田先生より平成 26 年度中部支部大会で使用する教室の説明(資料 11-1, 11-2)があった。

## II. 協議事項

### 1. 平成 26 年度支部総会について（資料 6～10）

各担当者より以下のことが説明・確認され、承認された。

- ① 長島庶務幹事より、平成 25 年度事業報告が行われた。第 58 回大会の会場校の名称の訂正および若手の会の第 3 回勉強会の詳細（日程、場所、参加人数）を追加することが確認された（資料 6）。
- ② 原田会計幹事より、平成 25 年度収支決算報告が行われた（資料 7）。総会当日は、監事の押印があるものをプロジェクターで示し、総会資料としては押印のないものを配付することが確認された。また、監査報告は成田前監事をお願いすることとし、もしご欠席の場合は東支部長が前監事として報告することが確認された。
- ③ 東支部長より、平成 26 年度事業計画について案が出された（資料 8）。総会と大会を別表記にして「1. 平成 26 年度総会」「2. 第 59 回大会」とし、これまで大会の内容の一部に入れていた総会を削除（別項目とする）ことにした。これに伴い、資料 6（事業報告）も同様に変更することが確認された。  
また、「4. 若手の会(3) 一般公開講演会については、内容が決定し次第追加することが確認された。
- ④ 原田会計幹事より、平成 26 年度収支予算書（資料 9）が提出されたが、これを「平成 26 年度予算案」と呼称することになった。また、資料 7 の収支予算決算報告についても「平成 25 年度決算報告」と呼ぶことになった。
- ⑤ 総会資料の印刷は、東支部長が行うことになった。
- ⑥ 総会次第と報告者等の担当者を確認した。

1. 開会の辞（副支部長 平林 由果）

2. 挨拶（支部長 東 珠実）

3. 議長選出 副支部長から「恒例により」東支部長を指名する。

4. 議事（昨年度と同様）

第 1 号議案 平成 25 年度事業報告承認に関する件（庶務・上野 顕子）

第 2 号議案 平成 25 年度決算報告承認に関する件（会計・原田 妙子）

第 3 号議案 平成 25 年度監査報告（幹事・成田 公子）

第 4 号議案 平成 26 年度事業計画（案）承認に関する件（庶務・長島 万弓）

第 5 号議案 平成 26 年度予算（案）承認に関する件（会計・原田 妙子）

第 6 号議案 その他（若手の会からの提案を含む）（若手の会代表・福岡 恩）

5. 平成 25 年度中部支部奨励賞審査結果報（審査委員長 岸本 満）

6. 平成 25 年度中部支部奨励賞表彰（支部長 東 珠実）

\*表彰状の準備 東支部長と平林審査委員長（⇒東支部長が準備）

\*受賞者に連絡 岸本先生から出席確認

\*図書券は、会計が前年度予算からすでに購入済み

受賞者には、印鑑持参を伝えること

※受賞者の写真撮影を、石原ホームページ担当幹事に依頼する

7. 第 60 回（平成 27 年度）中部支部大会開催校に関する提案（開催校挨拶）

（⇒椛山女学園大学に決定、東支部長より挨拶）

8. 第 68 回（平成 28 年度）全国大会開催校に関する提案（開催校挨拶）

（⇒金城学院大学に決定、平林副支部長より挨拶）

9. 閉会の辞（副支部長 平林 由果）

### 2. 平成 26 年度支部研究発表会について〔会場の見学を含む〕（資料 11-1～11-5）

- ① 会場見学の結果、若手の会会場は役員会にも使用すること、役員が使える部屋を 2 部屋用意していただき、片方は講師控室に使用することを確認した。

- ② ポスター発表は当初4件が8件となり、被服系2件と食物系6件に分けてプログラムを組んだ。口頭発表は当初6件が8件となり、食物5件（座長：長野先生と和泉先生）を331教室で、被服2件（座長：原田先生）と経営1件（座長：乗本先生）を332教室で行うことになった。
- ③ 中部支部賞にエントリーしている発表者が4件であることが確認された。（0-5, 0-7, 0-8, P-2）
- ④ 発表者は会員でなければならないことから、東支部長が中部支部賞にエントリーしている若手発表者の入会手続きを本部に確認することになった。（⇒全員、手続き済みまたは手続き中であることを確認した。）

### 3. 平成26年度家政学関連院生・学生研究発表会について（資料12）

金城学院大学において、平成27年2月21日（土）に家政学関連院生・学生研究発表会実施することと、支部大会プログラム発送時に研究発表会の案内を入れることが確認された。会員全員（約300部）に対し発送する。平林先生から電子ファイルを西田先生に送付していただき、会場校にて印刷・封入をお願いすることになった（7月31日付）。

また、最近院生・学生研究発表会の発表者数が少ない傾向にあることから、今年度の発表会の参加学生・院生を確保するよう役員各位に協力が求められた。また、次年度以降の日程について再検討（3月に戻すか）することになった。

### 4. 平成26年度第2期活動助成金について（資料13-1, 13-2）

平成26年度第2期活動助成金に、若手の会主催講演会（平成27年2月21日（土）、テーマ：災害を忘れない）の講師料と要旨集印刷費（院生・学生研究発表会の要旨集との合本の一部代金）を申請予定であるが、講演会の詳細が未定のため、今後、福岡若手の会代表と東支部長との間で詳細を詰め、申請締切日（8月20日）までに申請手続きをすることになった。学会員講師候補者の小川宣子先生には東支部長が窓口となって連絡をとり、福岡若手の会代表へつなぐことになった。外部講師については、災害ボランティアコーディネーターなごやの方を検討中とのことであった。

また、これに関連し、学会発行の災害関連ブックレット（100部）の代金の予算申請が可能であれば、それも含めて、申請書を作成することになった。（⇒ブックレット代は取り止めることになった。）

### 5. 平成27年度支部研究発表大会及び平成28年度全国大会開催担当校について（資料14）

平成27年度支部大会と平成28年度全国大会の開催校について検討し、役員会としては、以下のとおり決定した。

平成27年度（第60回）支部大会 梶山女学園大学

平成28年度（第68回）全国大会 金城学院大学

両大学で打診後、了承されれば、総会において次期開催校として報告する。（⇒いずれも承認された。）

### 6. その他

次回役員会 日時：平成26年9月6日（土）16:00～

場所：東海学園大学4号館2階427演習室

### ※参考資料（いずれも取扱注意のこと）

#### 1. H26-27 支部役員リスト

※長野先生の勤務先電話番号の後ろに（共通）を追加

#### 2. 中部支部会員データ（140617）

以上